

E-mail : freespace@tamariba.org



1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

Yes! We love BBQ!



毎年恒例、春のバーベキュー！今年も多摩川で開催されました。企画してくれたのは「バーベキュー有志の会」ですが、準備から片付けまで参加者も一緒にみんなでやる、というのが

たまりばスタイル！今年も前日から買い出しする人、当日の早朝から場所取りのために並ぶ人、一旦えんに行っておにぎりなどの用意をする人などなど。みんなで協力して頑張ります。当日はその場でジュージュー焼いたお肉や魚介類がたっぷり！心ゆくまで楽しみました。鉄板の上や机の上には、みなさんから頂いたおいしいおいしい差し入れがズラリ。バーベキューを盛り上げてくれました。

やっぱりみんなで一緒に外で食べるお肉は最高！！今回来られなかった人も来られた人も、また来年一緒に楽しみたいですね。（しもん）

えんの台所が新しくなりました！

毎日30～40人分の昼食を作るにはすこし小さかった台所を、業務用にして使いやすくしよう！ということで始まった『台所改装プロジェクト』。大人たちで話は進めていたものの、わくわくしていたのは大人だけじゃなかった。建築に興味がある子は現場を見たいということで、工事初日に来て、解体後の床磨きなどの掃除を行ったり、新しい作業台のために掃除や整理をし、搬入時には設置から収納まで率先してやる子がいたり。とても大切なことだなーと感じたのは、新しいものだけに目が行くのではなく、今まで使ったものは



もう捨ててしまうけれどそれを一生懸命掃除をしているみんなの姿。その「今までありがとう」の気持ちがとっても温かく感じました。

台所と作業台が新しくなったことで、料理やお菓子作りが楽しくなったり、作業台の横のスペースでコーヒーを飲みながら本を読んでいる子がいたり、ステキ空間が一つ増えたようです。（あかり）

今年も、ドイツからこんにちは！



昨年に引き続き、5月24日に、文部科学省とドイツ連邦家庭・高齢者・女性・青少年省が主催する国際交流事業の一環で、お客さんがやってきました。

そこで、「えんらしいおもてなしはなんだろう？」とみんなで考えた結果、豚汁・ちらし寿司・枝豆・手打ちうどんを作り、歓迎の出し物には普段やっているフォルクローレと東京音頭を披露しようということになりました。

また、日本らしい夏といえば「流しそうめんだよね！」と、なんと流し台も作りました。中学生が中心になって、近くの竹林に竹を取りにいき、1週間かけてオリジナルの流し台を作成。実験に実験を重ね、数々の失敗をしながらもなんとか当日を迎えることができました。

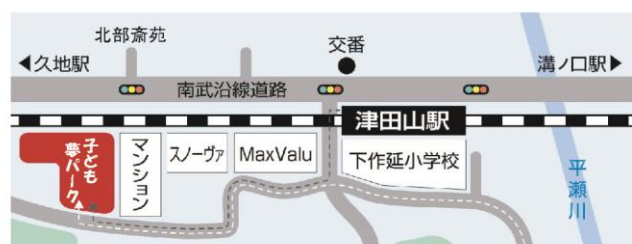
みんなで打った手打ちのうどんはちょっとダメになってしまっていて、今後まだまだ進化する可能性を感じさせる結果になりましたが、流したら、皆さん大興奮！とても楽しんでくれました！その後かわいく装飾されたえんの中に移動し、豚汁とちらし寿司で「いただきます!」、ドイツの方がお土産に持ってきてくれた本場のウインナーもさっとボイルして食べてみたら、これがまためっちゃめっちゃ美味しい！お腹いっぱいになったあとはフォルクローレと、この日のために練習してきた三味線付きの東京音頭を披露したら大盛り上がり♪最後にお土産をと、藍染めチームが作ってくれた素敵な手ぬぐいを渡したら、皆さん大喜び★あっという間ではありましたが、えんのみんなの力が集まってできた「えんらしいおもてなし」ができました。みんなのおかげで、楽しくてとっても素敵な時間をドイツの方たちと過ごすことができました。（マサ）



指定管理施設

『やってみたい』がいっぱいある場所です
川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケ だより



～春を指先で感じる～

ブリュッケで過ごす午後には、グループワークの時間があり、様々な講座を行っています。4月には、中原区にある御菓子所「花ごろも」の店長の大澤さんが来てくださりました。

大澤さんはとても穏やかな方で、和菓子づくりを仕事にしていくまでのプロセス、仕事の面白さ・大変さ、和菓子に使う材料《こし餡、白あん、求肥（ぎゅうひ）》へのこだわりなど、興味深い話をたくさんしてくださいました。

そして本番。大澤さんが公園の花をスケッチしてオリジナルで考案した「桜花（おうか）」と「春の野」という名の「煉切（ねりきり）」づくり。「桜花」は、白あんと求肥を煉りこんだ生地を伸ばし、こし餡をのせて包んでいきます。その後、桜の花びら型に加工された大澤さんお手製のヘラを使いかたどっていきます。単純のように見えて、繊細なその作業。餡を包みながら、自分自身が和菓子の世界に包まれていく…。2時間という時が、あっという間に過ぎました。「和菓子も新鮮なうちが美味しい」と大澤さん。ん～確かに！（SATO）



HAPPY えんブリディ

★お茶会ミーティングで「フェスティバルの上映会がしたい」という声があがり、大きなスクリーンで見たよー。いつもいろんなシーンで写真をとってくれる、カメラマンの山口さんが撮影・編集してくれた映像では、真剣な顔や楽しそうな顔…。一人一人の表情が見られて、そのときにタイムスリップしたみたいな感覚に。みんながいきいきしているフェスティバルはやっぱりサイコーだね！（あかり）

★最近のえんの遊びで流行っているのは「スラップ」という、剣を使わないフェンシングのような遊び。素手でタッチするなど、子どもたち自らが考えたゲームです。最近流行っているチャンバラだと、当たった時痛いから…という理由で生まれたみたい。このスラップ、やったら結構面白い！興味のある人は、ぜひ声をかけてね！（まさ）

★えんめしを食べて一段落、気づくと三好さんと数人の若者の姿がない。ハンター達が午後の狩りに出かけた模様。桜の花、フキノトウ、梅…ビニール袋を手に、時には時間を忘れて季節ごとの獲物をゲットし、それらを漬けて、干して、調理して、みんなに美味しさを届けてくれる。ハンター三好とその一味は、えんの幸せの使者なのです。（ハイホー）

西さんのつぶやき



4月に韓国から、5月にはドイツからの視察団が続いた。韓国団の受け入れがきっかけとなり、急きょユニセフからの招きで6月に韓国に行くことになった。過度の受験戦争が進む中、不登校・中退、子どもの自殺など、青少年の問題がたくさんある韓国では、いま各自治体が率先してユニセフが提唱する「子どもにやさしいまち」をつくろうと関心が高まっている。川崎の子ども権利条例づくりや子ども夢パーク・フリースペースえんの取り組みを通じて、子どもが「参加」して、子どもの居場所をつくり、子どもの権利の促進を図っている事例を紹介してほしいという依頼であった。

会場となった豪華なホテルの部屋にはいくつもの円卓が並び、食事会に続いてオーケストラの生演奏。なんとそのあとで、私の基調講演の出番が回ってきた。目の前には42の自治体の市長・区長ら首長が席を並べ、250人の関係者とたくさんの報道陣であふれていた。

ここでは詳しく内容を紹介することはできないが、講演の後半で、子どもの「参加」を妨げている「おとなの問題」を提起した。手出し・口出しが多い。評価したがる、教育・指導したがる。勝手に目標を設定したがる。子どもと相談せずルールを決めたがる。短期間に成果を求める「待てない」おとなの存在。子どもから意見を聞くだけ聞いて、何も改革に着手しないおとなの姿を通して、子どものやる気がそがれていくことなどにも触れた後、私たちが日々現場で心がけていることを紹介した。

安心して失敗できる、試行錯誤が許される環境づくり。おとながやらせたいプログラムではなく、子どもの「やってみたい」が優先される。効率性に縛られず、一見すると無駄に見えるような「子どもの時間」が保障されていること。「めんどくさい」を手放さないこと。そして何よりも大切なことは、おとなの顔色を気にせずに、子どもが安心して自分の意見を言える関係がつくられているか。おとなが上から目線ではなく、社会を構成するパートナーとして子どもをとらえているかなどを、夢パークの実践を通じ自戒を込めて語った。はたして自治体の首長や職員にどこまで伝わったろうか。講演後たくさんの市長らに握手を求められ、必ず夢パークに行くと熱い言葉を受けとった。夢パークの空間を見るだけでなく、その根っこにある「思い」や「まなざし」を、ぜひ共有したいと思う。（西野博之）



川崎若者就労自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人とがつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら…。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～29歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

夢パーク 夢パまつり 2017

祝14周年&来場者100万人突破!

7月17日(月・祝)11:00~16:00(18:00 閉所)

☆夏の恒例イベント! 夢パークにいつもとちょっと違う水とドロの遊び場が出現! ウォータースライダーやドラム缶風呂、ドロ団子作りなど、思いっきり楽しもう♪着替えは忘れずに!

「ゆめ市場」(飲食などの模擬店)や盆踊りもあります。

※18日(火)施設点検日のため夢パークは閉まっています。

※19日(水)「えん」は夢パまつりの代休です。

夢パーク KUJI ROCK '17 summer vol.37

7月23日(日)

☆夢パーク2階の「ごろり」がライブハウスになるよ♪

八丈島キャンプ

7月22日(土)~27日(木)・5泊6日(うち船中1泊)

八丈島・底土キャンプ場 ※申込み締切 7月7日(金)

夢パーク ゆる ROCK

8月13日(日)

＜★イベント出店★・♪演奏♪＞

★♪フリースクール・フリースペース・フェスタ

9月9日(土) 神奈川県青少年センター

★雑居まつり 10月8日(日)世田谷区・羽根木公園

♪白梅学園祭 10月21日(土)小平市・白梅学園大学

フリースペースって、どんなところ?

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第3回 8月19日(土) 10:00~12:00

第4回 10月21日(土) 10:00~12:00

(原則として、各回とも同じ内容です)

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
資料代 500円 <要予約・先着20人まで>
申込み 第3回 7月3日、第4回 9月4日、ともに10:30から受付開始

ご支援いただきありがとうございます (2017.3.18~2017.6.17)

NPO 法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。

(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。)

なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。

川崎橋ライオンズクラブ、ライオンズクラブ、倉方洋行、内川朗子、清水善幸、石川富士子、齋木麻衣子、奥出夏海、佐藤創楽、田老伸匡、竹内昭・太郎、松崎運之助、岡広美、櫻原楓・耶矢、中村公一、石橋充行・大吉、興水典久、宮崎芳正、友兼清治・悦子、中澤敦子、三宅翔太、毛井海渡、毛井大智、毛井ひろの、新田学、児島順子、柏倉敏和、後藤みしお、金子大也・麻子、矢崎美穂子、宇井新、藤井景子、村岡美和子、波瀬浩子、中西拓子、神山郁恵・竜之輔、伊原美枝子、山下時生、谷口亘、仲田康史、小坂陽子、本川るり子、梅田美穂、松尾智子、杉渕美有子、小沼英治・恵里菜、佐藤研二・真理、山本将也、鹿山法子、吉田裕子、廣渡明子、佐々木とも、水上香里・撫子、栗原崇、本田八重子、山下芳織、平島春美、高田裕子、西島麻由子、新居千文、古川雅一・富美路、マリック・サドルディン、マリック慎子、神田真那、長谷川和子、小浜華子、有園桂、原恭子、飯沼光津子、岡本徹平・恵子、遠山則子、赤野彩希、長谷川靖子、北川千鶴子、池田博毅、畑本和彦、川崎地方自治研究センター、赤野香織、中川裕子、櫻原雅人、細田和恵、高橋元央、三好洋子、愛甲香織、光富真希子、佐藤有樹、友兼大輔、西野博之、遠藤明梨、日下部政典、千葉志門、榎戸貴子、能條申子

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

振込先→郵便振替口座 002002-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください) ※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562 (光富)



オーガニックカフェ



TEL/Fax 044-813-5248

南武線久地駅下車徒歩2分
川崎市多摩区宿河原6-26-24 フジビル1F